

..... 編集後記

◆ 時のたつのは速いもので、今年ももう12月を迎えてしまいました。年末は何や彼やと忙しい限りですが、一年を振り返り、来年に夢を託すのも良いものです。さて、一年の締めくくりとなる今月号は、9編の一般投稿による構成となっております。

◆ 最初に、明治コンサルタントの重野氏ほかが新しい定方位地層採取装置とその応用例について紹介して下さいました。私達の生活する大地の下には、過去の環境やその変化を記録した地層があります。これを調べるには大がかりなトレンチやボーリング等による観察手法がありますが、迅速・安価で乱れが生じない地層試料採取装置は簡便です。装置と、湿原の堆積構造の調査風景・調査結果を、口絵とあわせてお読み下さい。

◆ 続いては、元地質調査所所員で現在専修大学におられる荻谷氏ほかによる、ペルー中部のチャンカイ谷の地形と地質の紹介です。ペルーのインカ文明は有名ですが、それ以前にも遺跡があったことはあまり知られていません。今回、これらの遺跡を育んだ背後の自然環境を把握するために行われた2007年の調査から、ペルーの地形・地質を語っていただいています。V字谷や氷河の影響を受けたU字谷などの地形・地質の特徴が紹介されており、普段お目にかかれない地形だけに、今後の調査の続報を期待したいと思えます。

◆ マイクロソフト社のExcelは、表計算ソフトとして多くの方が使用していると思いますが、茂野氏はExcelのプログラム開発環境を活用して、地球化学データを図表示する方法と利用例を紹介しています。Excelを高度に利用しようと考えている方は、これを機にチャレンジしてみるのはいかがでしょうか。

◆ 地質調査総合センターの前身、地質調査所の黎明期にライマンやナウマンといった外国地質調査研究

者が今日の日本の地質学に道筋をつけてくれました。そのナウマンが計画した5葉の予察地質図を、元地質調査所員の山田氏がシリーズで紹介していきます。初回は東北部の予察地質図で、背景・概要・その意義等を地質学者らしくまとめています。今後も次々と続く予察地質図の紹介記事が期待されます。

◆ 続いては、私たちの周りにある自然起源の放射性物質に焦点を当てて、その最近の動向について金井ほかで紹介させて頂きました。放射線は私たちの生活を良くもするし毒にもなります。その利用に当たっての最近の状況をご理解いただければ幸いです。

◆ オスロの第33回万国地質学会議の巡検で、玉生氏はジオパークを見学してきましたので、その紹介をしていただいています。日本の地質とは異なる、様々な地層・情景などの写真と、玉生氏の詠んだ俳句とともに、私達もオスロの旅に出かけましょう。

◆ 2008年夏の地質分野の話題を提供する高橋氏の紹介記事では、北欧の金属・非金属資源の論文紹介で資源調査の重要性を伝えておりますが、前ジオパーク記事の延長で北欧の地質を巡り回っているように読み進むことができます。

◆ 次は、在バンコクのCCOPコーディネーターの村尾氏から届いた、CCOP常駐代表が交代した旨の報告です。

◆ 最後に東宮氏は、火山の多い国土に住む私達に、分かり易い火山学の本の紹介をしています。

◆ 今年を顧みると、国内外において大きな地質災害があり、地質調査総合センターでも関連した調査活動や種々の広報活動・イベントなどを開催してきました。この一年、地質ニュースのご愛読有り難うございました。次号は2009年の新年号です。今年の一大イベント「地質の日」の特集号の予定です。

(金井 豊)

地質ニュース編集委員会

委員長：金井 豊

事務局委員：宮内 渉

委員：藤原 治・杉原光彦・高木哲一・森尻理恵・七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース 第652号 2008年 12月号
定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費

2008年12月1日 発行

編集 産業技術総合研究所

発行人 株式会社 実業公報社

代表者 林 光生

発行所 株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073

Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952

http://www.jitsugyo-koho.co.jp

E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp

振替口座 00110-6-32466

麹町局私書箱第21号



表紙右下のロゴについて：地質調査総合センターは、国際惑星地球年（IYPE）に賛同し、活動を支援しています。

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2008 Geological Survey of Japan